

平成31年(2019年)3月20日発行

# 学位取得 おめでとうございます

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが入学した2015年は北陸新幹線が3月に開業、4月にはアップルウォッチが発売になり、9月にはラグビーワールドカップの歴史的勝利に

## 学び方の作法は身についたか？



学長 成田 健一

興奮した年でもありました。その後のウェアラブル端末の普及は目まぐるしく、今やジョギングを楽しむ多くの人が愛用しています。インターネットを例にとれば、その出現から20年足らずで、それ無しでの生活が考えられない状態になっています。科

「とよく言われます。しかし私は必ずしもそうは思いません。教育には「コンテンツ」と「トレーニング」の二つの側面があり、前者は陳腐化するかもしれませんが、「学び方の作法」を身に付けるという後者の側面は、変化に対応するために「生涯学習」続け

ければならない。これからの社会では、益々必要となるでしょう。大学で学ぶ意味は、まさに何歳になっても新しいことを身につけられるスキルを培うことにあると思います。

社会にある問題の多くに正解はないし、正しいかどうかなんて誰も教えてくれません。大事なものは、答えに至るまでの「探求のプロセス」です。生き残るために学び続ける。そのためには好奇心をもって、「ワクワクしながら楽しく学ぶ」ことです。スポーツ心理学では「好きなこと×努力」が成功への方程式と言われています。

「卒業おめでとう」です。「平成最後の」という枕詞が、皆さんの卒業にもあてはまる、そうした一つの時代の節目での巣立ちであります。

手探りと失敗の積み重ねがやがて成果へとつながることを実感していることでしょう。手探りとは多様なアプローチを開発していく営みであり、試行錯誤とは貴重なデータの獲得であると考えることができます。

今日、AI、IoTが急激な勢いで進展しています。そうした時代には、ますます人間の役割が重要な意味を持つてきます。皆さんは、いわゆるデジタルネイティブの世代であり、インターネットが当たり前の環境の中で育ってきました。そんな世代にこそ、期待したいと思えます。

## AIの時代によき人間力を



理事長 柳澤 章

「卒業おめでとう」です。とはいえ未知の世界に足を踏み入れるというのは、誰もが期待と不安が入り交じるものです。失敗を恐れる余り、つい及び腰になりがちかもしれません。しかし、日本工業大学で学び、実

励んだ皆さんは、それぞれの分野での高度な専門知識および方法論・技術を習得したことにとどまらず、メカニクスというものを「作りだし、読み取り、改善・進化させる「作り手」としての目と感性を育んできました。

すなわち、とにかく手を動かしてみ

## 多目的講義棟 竣工

大学設立50周年記念建設事業 多目的講義棟特集①

2018年12月25日、日本工業大学設立50周年記念建設事業となる多目的講義棟(5号館)が竣工した。

竣工式は同日、同棟の柳澤章理事長、成田健一学長をはじめ本学教職員、関係者(施工者)など81人が参列。15時より特設テントにおいて、姫宮神社の成田宮司による神事が執り行われた。



多目的講義棟全景



玉串奉奠



定礎除幕



学生プラザ見学



竣工式(7階多目的スペース)

生自治会の各委員長、石本建築事務所関係者(設計者)、ナカノフドー建設関係者(施工者)など81人が参列。15時より特設テントにおいて、姫宮神社の成田宮司による神事が執り行われた。



テープカット

続いて、柳澤理事長と成田学長による定礎除幕の後、平野専門委員、学生自治会の田畑中央執行委員長、石本建築事務所関係者(施工者)、ナカノフドー建設の竹谷社長を加えてテープカットが行われた。

同棟内部の各フロアや施設については次号で紹介する予定である。

機械工学科

早期卒業

平成  
三十年  
度

# 卒業生一覽

3月20日付  
確定者

創造システム工学科

ものづくり環境学科

電気電子工学科

情報工学科

建築学科

### 平成30年度 学長賞・英語教育センター長賞受賞者

学長賞は学業成績が特に優秀な学部卒業生と大学院修了生を対象とし、学会等への論文投稿や表彰件数などの実績をもとに選考される。英語教育センター長賞は、英語科目で特に成績が優秀であると認められた学部生に贈られる。

#### ■学長賞受賞者（工学部）

学 科	氏 名	出身校
機械工学科		
ものづくり環境学科		
創造システム工学科		
電気電子工学科		
情報工学科		
建築学科		
生活環境デザイン学科		

#### ■学長賞受賞者（大学院）

専 攻	氏 名
機械システム工学専攻	
環境共生システム学専攻	

#### ■英語教育センター長賞受賞者（工学部）

学 科	氏 名	出身校
機械工学科		
創造システム工学科		
創造システム工学科		

### 生活環境デザイン学科

### 大学院工学研究科修了生

#### ●博士前期課程

#### ●博士後期課程

### 大学院技術経営研究科修了生 (予定)

#### ●専門職学位課程

### カレッジマイスターに59名認定

#### ものづくりの現場で活躍を期待



成果報告会では各工房が活動成果を展示

カレッジマイスターエクスセレントはものづくりに関する発想力と実現力に秀でた29名、同プライマリーは本学の実工学教育におけるものづくりの基礎を修得した30名が認定された。認定者は昨年度の成果報告会において、学内教職員や学生に向けて活動成果を発表し、作品を展示した。ものづくりに関する積極的姿勢と基礎力を活かし、本学で実工学を学ぶ学生の模範として一層の活躍が期待される。

#### ■エクセレント

機械加工工房（11名）、型技術工房（3名）、フォーミュラ工房（4名）、モノ創りデザイン工房（1名）、ロボット工房（1名）、マイクラ・ナノ工房（3名）、マイコン応用回路工房（1名）、2×4木造建築工房（2名）

#### ■プライマリー

フィジカルコンピューティング工房（7名）、物理感工房（1名）、ものづくり入門工房（22名）

### 留学生別科修了式挙行 2カ国11名が修了

修了式は3月1日、学生会館にて執り行われ、1年の課程修了生5名、1年半の課程修了生1名、半期進学成績優秀者5名が出席。出身国別では台湾6名、中国5名。式は成田学長による修了証書授与ならびに告辞、柳澤理事長の祝辞、記念品贈呈と続いた。今後の進路は本学学部・大学院8名、本学研究生1名、他大学別科1名、専門学校1名となっている。



成田学長による修了証書授与

### 社会課題解決に向けた技術経営

#### 専門職大学院だより

#### 大学院技術経営研究科・教授 三宅 将之

#### ●専門職学位課程

昨年末、日本工業大学神田キャンパスにて「2030年の社会・テクノロジー研究」が発足した。研究会発足の狙いは、「長期視点で社会課題に向き合い、テクノロジーの動向の研究と共に、中堅・中小企業の立場に立ち、その活用・実践により社会課題の解決への貢献を志向し、専門職大学院（MOT）在校生や修了生に限らずオープンな活動を目指す」ことにある（宮代キャンパスから八木田浩史環境教育研究センター長も参加）。

第1回研究会（12月）は「サステイナブル経営とSDGs」、続いて第2回研究会（1月）は「2025年の崖」と題したMOT修了生自身が挑戦している実体験を踏まえた研究報告が行われた。各回とも参加者から中小企業の視点でも理解を深め、企業現場での実務としてテクノロジーを活用し具体的などのような取り組みが求められるか？②会社と社員（個人）、そして国家との関係性の変化、などに関して活発な意見交換がなされた。

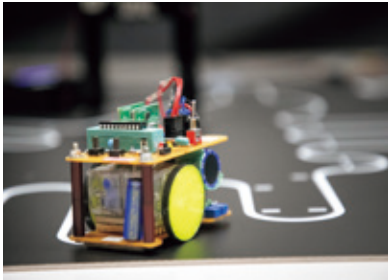
様々な産業において、新たなデジタル技術を使ってこれまでにないビジネス・モデルを展開する新規参入者が登場し、ゲームチェンジが起きている。こうした中で、各企業は、競争力維持・強化のために、新たな変革をスピーディーに進めていくことが求められている。今後の研究会テーマとしては、長期視点での社会展望とテクノロジー動向研究と共に、企業

の現場・実務を踏まえた組織や人材の観点からも専門知識や経験を有するメンバーを中心に順次報告者となって問題提起してもらおう予定にしている。

本研究会をはじめとしてMOTでは、2030年を展望した社会課題を認識し、その解決に向けた姿勢を重視した活動を関係者の共感を得て推進し、新規ビジネス創造に邁進するビジネスリーダーを世の中に輩出することを目標に取り組みんでいきたい。

# マイクロロボコン高校生大会

## 12都府県から130名が参加



12月22日、第12回マイクロロボコン高校生大会が本学、学友会館で開催された。参加は1人1台で、1インチ部門、ネームカード部門合わせて130名と非常に多い参加者数となった。参加高校は18校(12都府県)となり昨年よりも多くの高校に参加いただいた。

1インチ部門で優勝したのは、長野県箕輪進修高等学校であった。今年の大会は大きくルールの変更を行った為、各高校で新たなロボットの開発が必要であり、完走できない機体も多くあったが、今大会は完全自作のロボットも多く、各高校の創意工夫が際立つ大会となった。

### 競技結果表

順位・表	高校名	操作者	ロボット名
1インチ部門	優勝	長野県箕輪進修高等学校	伊藤 佑 敷波
	準優勝	長野県箕輪進修高等学校	堀内 俊貴 太郎丸
	3位	福島県立会津工業高等学校	鹿目 貴大 Squareしかめ
	4位	愛媛県立今治工業高等学校	山田 泰史 スマイル
ネームカード部門	優勝	青森県立弘前工業高等学校	栗津 翔太 クランC
	準優勝	千葉県立清水高等学校	岡田 健太郎 みりんの神様
	3位	長野県松本工業高等学校	矢野 綾乃 赤ベコ
	4位	愛媛県立新居浜工業高等学校	岡田 来海 いのひー
特別賞	技術賞	愛媛県立今治工業高等学校	山田 泰史 スマイル
	エコロジー賞	長野県松本工業高等学校	寺島 希羽 サンマ
	デザイン賞	茨城県立水戸工業高等学校	石田 駿弥 LGA2011-V3
	学長賞	茨城県立つくば工科高等学校	



キャンパスベンチャーグランプリの奈良さん(右)

学生起業家の登竜門、C V Gでの特別賞獲得  
学生起業家の登竜門「キャンパスベンチャーグランプリ」東京大会で、本校学生が「奈良さん」(右)が「りそな銀行賞」を獲得。その独自性と大学での学びに裏付けされた技術力が評価された。自治体主催のコンテスト参加による地域貢献  
春日部市主催の「政策提案コンテスト」「ビジネスプランコンテスト」に3チームが参加。前者では本学チームが2年連続で最優秀賞を獲得。青森県むつ市出身の学生は同市でのコンテストで入賞。学びの成果を故郷の活性化に活かすことができた。  
製品アイデアを競うコンテストでの実績  
開放特許の製品化アイ

近年、本学における起業家育成教育が実を結び、学外のビジネスプランコンテストにおいて、本学学生の提案が高い評価を得ている。今年度の主な実績を紹介する。

キャリア弁をテーマとしたユニークなビジネスプランが「りそな銀行賞」を獲得。その独自性と大学での学びに裏付けされた技術力が評価された。自治体主催のコンテスト参加による地域貢献  
春日部市主催の「政策提案コンテスト」「ビジネスプランコンテスト」に3チームが参加。前者では本学チームが2年連続で最優秀賞を獲得。青森県むつ市出身の学生は同市でのコンテストで入賞。学びの成果を故郷の活性化に活かすことができた。  
製品アイデアを競うコンテストでの実績  
開放特許の製品化アイ



春日部市学生政策提案コンテスト(2チーム合同)

受賞日	コンテスト名	受賞名称	受賞者(学科・学年)	受賞プラン名
2018/11/17	第3回コム 近未来社会学生コンテスト	最優秀賞	磯部 佑太(C3)・上村 勇太(C3)・宇南山 直紀(C3)	視界共有システム アイシス
2018/11/18	春日部市大学生政策提案コンテスト2018	最優秀賞	浜飯 拓海(E3)・川村 佳史(A4)	春日部市STEMプロジェクト
2018/11/18	春日部市大学生政策提案コンテスト2018	審査員特別賞	別役 直起(A4)・相澤 宏樹(A4)・石川 航(A4)・神尾 健太(A4)・永沢 大貴(A4)・小澤 智博(A3)・吉田 海斗(A3)	まちなかキャンパスかすかべ一市と10大学連携のまちづくり拠点
2018/11/29	キャンパスベンチャーグランプリ東京大会	りそな銀行賞	奈良 勇輝(S3)	オーダーメイドキャラ弁用品の製造販売
2018/12/7	知財を活用した商品アイデア創出事業 in 埼玉	奨励賞	佐藤 優(D1)・翼 翼(D2)	子供(赤ちゃん)が使用するものに貼る「多孔質二重構造キャラクターステッカー」
2019/1/18	彩の国さいたま ICTコンテスト2018 アイデア部門	日刊工業新聞社賞	岩本 優太(C3)・稲葉 幸紀(C3)・吉田 航太(C3)	とどろ〜んと物を届けるシステム〜
2019/2/1	むつ☆ビジネスプランコンテスト	特別賞	浜飯 拓海(E3)	「From北」都心進学大学生組織化による下北・青森の活性化
2019/2/6	第3回かすかべビジネスプランコンテスト	春日部商工会議所賞 春日部市商店会連合会賞(W受賞)	相澤 宏樹(A4)・長谷川 嵩晃(A4)・小澤 智博(A3)・吉田 海斗(A3)	ヒト・マチ・ミライ元気プロジェクト〜中心市街地・空き店舗活性化マルシェ〜

学科の略記号=E:電気電子工学科 S:創造システム工学科 C:情報工学科 A:建築学科 D:修士課程 ※数字は学年(受賞時)

山直紀さんのチームが加256組の中から「最優秀賞」に選ばれた。企画内容は「視界共有システム」。「アイシス」。スマートグラスによる視界共有により、外出困難な人や高齢者が他人と旅行の風景を共有したり、料理などの作業を共有することが可能となる。近未来における人の繋がりを思いやりをシステム化した点が高く評価された。

**人と自然の調和に魅せられて...**

赤倉山荘は新潟県妙高高原の麓に位置し、春は新緑、夏は登山、秋は紅葉、冬はスキーと、四季折々に豊かな自然を楽しむことができます。妙高山を仰ぎ見る高原の広大な敷地に位置し、温泉で疲れた体を癒すにも最適です。

宿泊等の詳細: 大学HP>センター・付属施設  
お申込み・お問合せ: 学生支援課



※映像やデータを現実世界に重ねて表示させる機器

外部コンテストへの参加は学生に新たな視点と経験を与え、就職活動や将来のキャリア構築にも役立つ。今後も、多くの学生たちの積極的な参加を期待する。

**人事異動**

【定年退職】(3月31日付)  
武富 為嗣教授(専門職大学院)  
雨宮隆教授(ものづくり環境学科)  
吉澤信幸教授(創造システム工学科)  
新藤義昭教授(情報工学科)  
板橋春夫教授(建築学)

**国外出張**

◆神林靖准教授(情報メディア工学科) / 出張先: チェコ(2/18~2/23) / 目的: The Eleventh International Conference on Agents and Artificial Intelligence(IA-AA) / スペシャルセッションと研究発表と大学院生の引率  
◆関根路代講師(共通教育学群) / 出張先: カナダ(2/23~3/4) / 目的: 海外英語セミナー参加学生の現地指導および支援  
◆吉田要講師(共通教育学群) / 出張先: カナダ(2/23~3/24) / 目的: 同前  
◆劉雲教授(共通教育学群) / 出張先: 中国(2/26~3/3) / 目的: IIEC国際電気標準会議TC94国際会議へ出席

**春の宮代は桜の街「桜市2019」**

寒い冬を乗り越えて、今年も桜の季節がやってきます。3月30日(土)10時から、笠原小学校前の桜並木の下で、恒例の「桜市」が開催されます。地元商業者等による出店をはじめ、町内小・中学校の児童・生徒による演奏や演舞を予定しています。コスプレをした参加者も多く、毎年大変賑わっています。ご家族やご友人と一緒にぜひお来場いただき、美しい桜を眺めながら春の宮代をお楽しみください。

「桜市」の詳細は、広報みやしろ3月号や町ホームページでご紹介しています。

**編集後記**

▼卒業の皆さん、おめでとう。そして、ご家族の皆様から心からお祝いを申し上げたい。▼卒業にあたり、歌手の加藤登紀子の言葉を贈りたい。「人生はマランではないのだ。歯をくいしばって、黙々と走ったところで、最終目的地があるわけじゃない。人に勝ったところで、大した勝利ではない」▼彼女は東大生歌手としてデビュー。「知床旅情」「日本のバラ」などをヒットさせ、現在も活躍しているミュージシャンである▼この言葉の意味は、まさにマイペースの勧めだろう。人生にはゴールがあるわけではない。個人が、それぞれに自分のペースで前進していくだけ。だから勝ち負けを競う類のものではない、との御託だ▼そう、自分がどう走るか、自分に合ったような走りをするのが重要なのだと示唆している言葉だ▼こうした静かな闘志を胸に秘めながら、人生を生き抜いて欲しい。

**学長と学生代表の懇親昼食会**

今年1月16日に開催。成田学長、竹内学生支援部長、大塚学生支援課長、田畑中央執行委員長以下7名の委員長・会長が参加し、昼食を摂りながら意見交換を行った。学生たちはやや緊張した表情で自己紹介を行い、各委員会の活動内容について説明。新設された多目的講義棟に話が及ぶと学長は「この講義棟が19日・20日の両日にわたって実施され、本学は同試験の試験会場となった。両日ともに定刻どおり、各教科の試験が行われた。」

**オープンキャンパス**

学部学科紹介、研究室ツアー、体験授業、個別進路相談などを実施

3/23(土)

**大学入試センター試験実施報告**

大学入試センター試験が1月19日・20日の両日にわたって実施され、本学は同試験の試験会場となった。両日ともに定刻どおり、各教科の試験が行われた。

**自治会やクラブの加入者減少問題が学生から提起される**

「入学直後だけでなく、春学期途中でも加入しやすくない」という声が多く、講義棟1階で各クラブのPR動画を紹介する企画もあるので活用してほしい」と助言した。

**卒業生の声**

卒業生の声として、加藤登紀子の言葉を贈りたい。「人生はマランではないのだ。歯をくいしばって、黙々と走ったところで、最終目的地があるわけじゃない。人に勝ったところで、大した勝利ではない」▼彼女は東大生歌手としてデビュー。「知床旅情」「日本のバラ」などをヒットさせ、現在も活躍しているミュージシャンである▼この言葉の意味は、まさにマイペースの勧めだろう。人生にはゴールがあるわけではない。個人が、それぞれに自分のペースで前進していくだけ。だから勝ち負けを競う類のものではない、との御託だ▼そう、自分がどう走るか、自分に合ったような走りをするのが重要なのだと示唆している言葉だ▼こうした静かな闘志を胸に秘めながら、人生を生き抜いて欲しい。